

2025年10月9日

(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所
関西熱化学(株) 加古川工場

降下ばいじん 加古川製鉄所 自主管理目標値（環境対策効果の予測値）
未達成について

当製鉄所では、2008年4月より粉じん対策の効果を確認するため、降下ばいじんについて製鉄所影響値 3.0t/km²/月以下（対象測定地点：加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所）という自主管理目標値（環境対策効果の予測値）を設定し、その達成に努めて参りました。しかしながら、8月度の加古川神鋼ビルの測定値が3.78t/km²/月となり、自主管理目標値未達となりました。

地域の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

なお、原因調査および対策検討の結果については、兵庫県・加古川市への報告とあわせて、後日改めて公表いたします。

<降下ばいじん 製鉄所影響値^{*1}（加古川市測定）> 単位：t/km²/月

測定地点	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度
加古川神鋼ビル	0.66	0.77	1.10	2.18	2.03	2.51	2.86	3.78
別府小学校	0.93	1.24	1.01	0.87	1.62	1.69	1.60	1.66
尾上小学校	0.31	0.37	0.30	0.48	0.78	0.87	1.09	0.61

<コメント>

当製鉄所では、降下ばいじん対策を重要課題と位置づけ、これまで各種低減対策の維持・強化に継続して取り組んでまいりました。しかしながら、2025年8月度においては自主管理目標値を達成することができませんでした。

現在、原因の究明および再発防止策の検討を進めており、安定的に目標値を達成できるよう、より一層取り組んで参ります。

神戸製鋼所 加古川製鉄所長 中村 昭二
関西熱化学 加古川工場長 稲益 裕修

以上

※1：製鉄所影響値

加古川市が測定している製鉄所近隣3ヵ所（加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校）の降下ばいじん総量のうち、不溶性量について、製鉄所から遠方の5ヵ所（環境監視センター、山手中学校、東神吉小学校、志方公民館、両荘みらい学園）の不溶性量を自然要因として差し引いた値を製鉄所影響値と定義しています。風相当の強風影響分（明石气象台で南風風速10m/s以上）を除いております。



※ 自然要因等：環境監視センター、山手中学校、東神吉小学校、志方公民館、両荘みらい学園の不溶性降下ばいじん量の平均値。